

2022年 3月 31日

各 位

会 社 名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
 代表者氏名 代表取締役 執行役員 社長 山下 尚登
 (コード番号 9265 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役 執行役員 北野 幸文
 (TEL 092-402-2922)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年7月14日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2022年5月期通期連結業績予想数値の修正(2021年6月1日～2022年5月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,838	542	584	346	135.69
今回発表予想(B)	54,426	830	894	539	211.37
増減額(B-A)	4,587	287	309	193	
増減率(%)	9.2	53.0	52.9	55.8	
(ご参考)前期実績 (2021年5月期)	70,131	968	1,026	678	265.77

(2) 修正の理由

当社グループでは、主要取引先である急性期医療機関向けの各種診断機器や手術室関連機器等の高度医療機器、内視鏡関連製品等の低侵襲治療機器などの主力商品分野における営業を強化するとともに、医療機関の移転・新築に対する総合提案やクリニックの開設・移転・リニューアルをサポートする新規開業支援、電子カルテシステム等の導入支援や、医療・介護施設に対する病床転換や事業承継等の専門的なコンサルティングサービスの提供等、多様化する顧客ニーズへの対応に取り組んでまいりました。また、一方コロナ禍による全世界的な供給状況の変化が見られた中、医療機関の需要に的確に対応するため SPD 事業をはじめとして医療材料の安定的供給体制の強化にも取り組んでまいりました。

これらの結果、医療機器備品や低侵襲治療機器等の主力商品分野の売上が期初の想定以上に回復したことに加え、感染対策機器や各種検査機器等のコロナ関連商品に対する医療機関の需要等も継続したことから、依然としてコロナ禍の影響及び、世界的な半導体不足による医療機器製造への影響もあり、予想が難しい状況にはあるものの、通期の

売上高が期初予想を上回る見込みとなりました。

また、利益面におきましても、売上増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が、それぞれ期初予想を上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容(2022年5月期)

基準日	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	41.00	41.00
今回修正予想	—	63.00	63.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2021年5月期)	0.00	90.00	90.00

※前期実績内訳：普通配当 80 円 00 銭、記念配当 10 円 00 銭(創業 95 周年記念配当)

(2) 修正の理由

当社グループでは従来より、安定的な配当の継続を基本方針とし、配当水準として連結配当性向 30%を基準としております。

当期連結業績予想の上方修正を踏まえ、上記基準に従い、期末の配当予想を前回公表しております1株当たり41円から同63円に修正させていただきます。

(注)上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上